

西大和学園報

第 47 号
2016.5.21
発行
西大和学園

たくましく生き抜く人

学校法人 西大和学園 理事長



田野瀬 太樹

今年の中学の入学式では新入生に向けて、アメリカ・スペースX社の宇宙

開発を題材にして話をしました。起業からわずか十数年のベンチャー企業ですが、人工衛星の打ち上げ事業を軌道に乗せ、民間機として初の国際宇宙ステーションへのドッキングに成功するなど成果を出し続けています。二〇一五年の12月には世界初の試みとして、衛星打ち上げロケットを地上に垂直着陸させて回収し、世界を驚かせました。

この話から新入生に語りかけたことは、確固とした信念を持って失敗もいとわず突き進めば、何でも成し遂げられるということだと思います。西大和学園での様々な経験を通じて夢中になれるのを見つけてもらいたい。一人一人の持ち味と創造性を発揮して、自分をこれややって世の中の役に立とうということを見つけてほしいという願いを伝えました。

今の子供たちが大人になるときに、65%の人は今はない仕事につくと言われています。人工知能の開発が進んで、今ある仕事のうちの47%は自動化されて人がやる必要がなくなるという説もあります。そんな激動の世の中を生きて抜くために、しっかりと自分の考えと明確なビジョンをもって人生を切り開いていける

逞しい人材を育てるため、これからも誠心誠意努力してまいります。

今後の西大和学園の教育活動に対しまして一層ご注目いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

夢や希望に輝く新入生を迎えて



上村 佳永
学園長 中学校長

桜花爛漫、素晴らしい季節がやってきました。夢や希望に

輝く新入生を迎えて、学校全体、活気に満ち溢れた新年度がスタートしました。西大和学園では、「次代を担う高い理想と豊かな人間性を持ったリーダーの育成」を目指して、校訓である「探究・誠実・気迫」を礎とした教育活動によって、生徒の皆さんが、世界を舞台に国際社会で貢献できるグローバル・リーダーとして立派に成長してくれることを願っています。

先日の入学式では、新入生に以下の三点をお話させて頂きました。

一つ目は、「体を鍛え、心を育て、自らの道を切り拓いてほしい」ということ。今、私たちは、かつて経験したことのない激動の時代を生きています。このような先を読めない困難な時代を生きて抜いて行くためには、皆さんは、どのような方向に進むべきかを見定め、主体的に考え、自ら判断し、積極的に行動し

ていく力を身に付けなければなりません。自らの道を切り拓くためには、自分は本当に何をしたいのか、何を学びたいのか、自分自身に問いかけ、自分の真の心と向き合うことが重要になります。次に二つ目ですが、「失敗を恐れず、常に挑戦する人であれ」ということ。これからの学校生活は、皆さんにとって、順調な日々ばかりが続くものではないはずで、時には、頑張っても思い通りにならず、くじけそうになることもあるでしょうが、決してあきらめないでください。失敗を恐れるあまり行動しなければ、何も生まれません。むしろ失敗したことで得るものも大きいはずです。様々なことに積極的に取り組み、夢の実現に向けて常に挑戦する人であってほしいと願っています。最後にもう一つ「思いやりと感謝の心が幸せを連れてくる」ということ。皆さんは、これからの人生の中で多くの人たちと関わり、様々な恩恵を受けて、生きていくわけですね。自分のまわりの人に思いやりと感謝の心をもつことで自分自身に幸せを連れてくるのです。自分自身が、生かされている存在であることに気づくと共にすべてのものに思いやりと感謝する心を大切にしてください。

この三点をしつかりと心に止めて、西大和学園の生徒としての自信と誇りを持って、日々努力し、大きな夢の実現に向けて力強く一歩一歩、確実な歩みを進めてくれることを心から願っております。

最後に保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。今日から本校教職員一同、力の限り、お子様の健やかな成長に向けて精一杯努力してまいります。どうか本校教育に深いご理解と絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世界をリードする「プラチナ人材」に
高等学校長
中岡 義久
今年度より高等学校長に就任致しました。甚だ微力ではありますが、皆さまの期待に添うよう本校教育の発展に専心努力する所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



中岡 義久

今年度より高等学校長に就任致しました。甚だ微力では

ございますが、皆さまの期待に添うよう本校教育の発展に専心努力する所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、生徒たちが活躍する20年、30年後の社会は、グローバル化がさらに進展しているだけでなく、「未来を変えるテクノロジー」の急速な進歩のおかげで、「想像を越えた世界」になっていると言われております。そのような未来世界の中でリーダーとして活躍するのは、本校が目指す「次代を担う高い理想と豊かな人間性を備えた人材」であると考えております。それは、高度な学力をベースとして、高い理想に向かって自己を駆り立てる「熱い情熱」と、その行動に方向性と計画性を与える「冷たい理性」、さらには、周りの人たちに良い影響を与える豊かな人間性を備えた「リーダーシップ」を兼ね備えた者だと思っております。ぜひ中学・高校時代におけるその礎を築き、将来、さまざまな分野において、世界をリードする「プラチナ人材」として活躍していただくことを期待しております。

私は「生徒はみな無限の能力・可能性を持っている」を基本理念にしています。その能力・可能性を存分に引き出し伸ばさせるために、今後ますますさまざまなことに挑戦していきたいと考えております。そして常にワクワク感のある学校を目指していきますので、今後とも何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

名実ともに日本一を目指して

中高相談役 福井 士郎

進学
統括室

教育内容は日本屈指の レベルに到達

本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）やスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されており高校の内容を超えた

教育に取り組んでいる。SSHでは近年、生徒たちの研究成果が高く評価されるようになってきた。毎年全国の大学で開催される学会では、大学の研究者が発表しているが、その中で本校の生徒も発表するというのが去年あった。非常に優秀な研究であるため大学の先生から推薦されたからである。また、研究を進展させ英語の論文にまとめることを勧められ、大学の先生を紹介するとまて言われた生徒も出てきている。SGHに関してはまだ不慣れな部分もあり、これから本格的に取り組んでいく予定である。模擬国連では全国大会に出場することが多くなり、数年前には日本代表で世界大会に出場し、賞をもらった先輩もいる。海外の大学・大学院への進学を希望する生徒も増えてきているため、本校における英語教育を

飛躍的に発展させるべく様々な取り組みが現在も進行中である。他校がともまねることのできない高いレベルの取り組みにするべく日々研究している。これは本校の教育が日本でも屈指のレベルに達してきている証左でもある。

平成28年度入試を振り返って

東京大学志向が強くなってきた

前述したことは生徒たちの大学志向の変化にも表れてきている。ここ1～2年明らかに生徒たちの東大志向が増え始めた。東大を前期受験する現役生だけを見ると、平成23年は21名受験（13名合格）、平成24年は31名受験（11名合格）、平成25年は31名受験（21名合格）、平成26年は36名受験（17名合格）、平成27年は29名受験（19名合格）、平成28年は56名受験（29名合格）となる。今年の受験から東大受験生も合格者も激増しているのがわかる。東大現役合格者の数は全国では12位、関東地方以外では2位（1位は灘）となっている

ことから、今年度入試は本校がいよいよ全国一の実績をつくるスタートをきった元年であると確信している。その分、京大や国公立大医学科が減る傾向にある。従来は京大を受験し合格していた生徒が大量に東大を受験したため京大の合格者数とその分減少した。来年以降もこの傾向はますます顕著になると思われる。研究活動や経済活動をグローバルに展開していくためには、東大や世界のトップ大学・大学院で学ぶ必要があると感じている生徒が今後も増えていくと思われる。

東京大学の推薦入試と京都大学の特色入試

大学入試の改革もいよいよ本格的になってきた。今年から東大と京大が推薦入試や特色入試を実施して、従来のように多くの科目で高得点を取る生徒以外に、ある分野で非常に優れた能力のある生徒も獲得していくという入試を始めた。かなり以前から国公立大学の推薦入試は実施されていたものの、東大と京大が参入したので今後の展開が楽しみである。



ただ、受験資格のハードルは来年から幾分低く
なっていくようなので(最初から予想されていた)
受験者数は増えていくものと思われる。今年本校
からも東大と京大で合格者が1名ずつ出ている。

改革は続く

今後も大学入試の改革は大きく進んでいくもの
と思われる。世界の大学の現状を見ると日本の大
学の立ち遅れが目立つ。それを挽回しようと各
学は抜本的な改革に取り組んでいる。それはとり
もなおさず中学・高等学校教育の現場に決定的な
影響を与える。しかし、これからいかなる改革が
なされようとも真の実力をつけておけば右往左往
する必要はない。

真の実力をつけるには、ペーパーテストで優
秀な点を取ることはもちろん、コミュニケーション
力をつけ、グローバルに活躍できる積極性を身に
つけることである。このような人材を輩出すべく
本校はこれからも様々な改革に取り組む決意であ
る。

2016年 東京大学 現役合格ランキング

順位	校名	合格数	現役	浪人
1	開成	169	103	66
2	筑波大付駒場	101	81	20
3	灘	94	72	22
4	聖光学院	71	57	14
5	麻布	94	56	38
5	渋谷幕張	76	56	20
7	桜蔭	59	52	7
8	栄光学園	57	41	16
9	駒場東邦	57	37	20
10	豊島岡女子	40	33	7
11	早稲田	38	31	7
12	西大和	33	29	4
13	日比谷	53	27	26
13	久留米大附	36	27	9
15	学芸大付	57	26	31
16	ラサール	44	25	19
16	女子学院	34	25	9
16	浅野	30	25	5
19	東大寺	37	24	13
20	海城	30	20	10

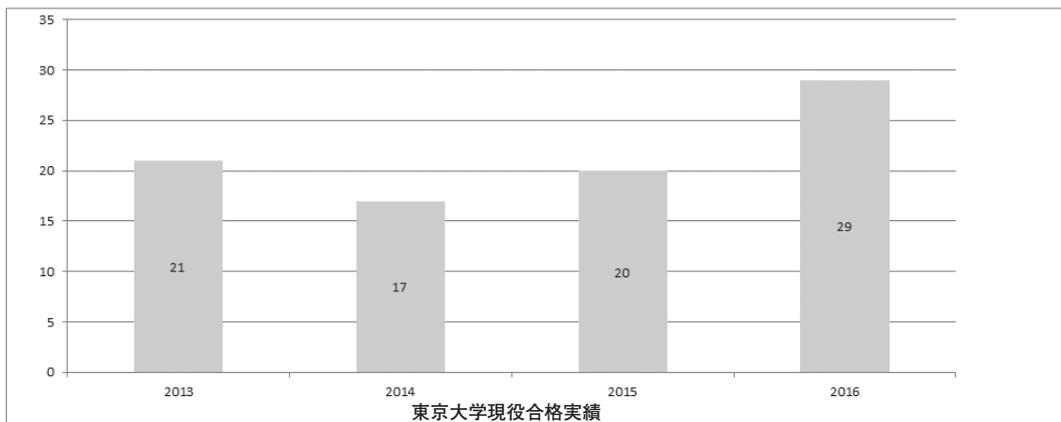
網掛けは関東圏外

2016年 大学合格者数(国公立)

大学名	合格者	内現役
北海道	7	2
東北	1(1)	1(1)
秋田	1(1)	1(1)
山形	1(1)	
茨城	1	1
筑波	2	2
千葉	1	1
電気通信	2	1
東京	33	29
東京外国語	1	1
東京工業	1	1
東京海洋	1	1
一橋	2	1
横浜国立	3	
金沢	1	
福井	2(2)	2(2)
名古屋	3(2)	2(1)
名古屋工業	1	
三重	3(1)	
滋賀	1	1
滋賀医科	2(2)	1(1)
京都	49(3)	32(3)
京都工芸繊維	4	1
大阪	31(2)	18
大阪教育	2	1

()内は医学部

大学名	合格者	内現役
神戸	14(4)	9(3)
和歌山	3	2
広島	2(1)	1
山口	1	
徳島	1(1)	1(1)
香川	1(1)	
九州	5(1)	3(1)
九州工業	1	
佐賀	1(1)	
長崎	3(3)	1(1)
鹿児島	1(1)	1(1)
琉球	1	
国際教養	1	1
首都大学東京	1	
岐阜薬科	2	1
名古屋市立	2	1
京都府立医科	1(1)	1(1)
大阪市立	8(3)	2
大阪府立	20	7
兵庫県立	1	
奈良県立医科	6(6)	2(2)
和歌山県立医科	1(1)	
公立鳥取環境	1	1
岡山県立	1	
北九州市立	1	
合計	236(39)	134(19)



年間行事予定 (H28.4.30現在)

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土		1	火	中3アメリカグローバル 研修プログラム	1	木		1	水	
2	日		2	水		2	金		2	木	
3	月	午前中授業	3	木	文化の日 海外探究プログラム(H1)	3	土	高2会員の集い	3	火	
4	火	前期期末考査	4	金		4	日		4	土	高校卒業式・謝恩会
5	水		5	土		5	月	午前中授業	5	日	
6	木		6	日		6	火	後期中間考査 (高校3年除く)	6	月	高校入試
7	金		7	月		7	水		7	火	後期期末考査
8	土		8	火		8	木		8	水	
9	日		9	水	高1代休	9	金		9	木	
10	月	体育の日	10	木		10	土		10	金	
11	火	後期開始式 特別校時 答案返却日	11	金		11	日		11	土	建国記念日
12	水		12	土		12	月	答案返却日	12	日	
13	木		13	日		13	火		13	月	中1スキースクール
14	金		14	月		14	水		14	火	
15	土		15	火		15	木		15	水	
16	日		16	水		16	金		16	木	
17	月		17	木		17	土		17	金	
18	火	成績確認日	18	金		18	日		18	土	
19	水		19	土		19	月	成績確認日	19	日	
20	木	ファームステイ (農村留学) (J1)	20	日		20	火		20	月	春分の日
21	金		21	月		21	水	1・2限授業・生徒集会 大掃除	21	火	中学卒業式予行 成績確認日
22	土	中2会員の集い	22	火		22	木	三者面談会	22	水	中学卒業式
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	天皇誕生日	23	木	終業式 LHR 大掃除 閉寮(17:00~)
24	月		24	木		24	土		24	金	中学1・2年マラソン大会
25	火	中3アメリカグローバル 研修プログラム(11/4)	25	金		25	日		25	土	
26	水		26	土	中3会員の集い	26	月		26	日	
27	木		27	日		27	火	閉寮(17:00~)	27	月	
28	金		28	月		28	水		28	火	定期考査一週間前
29	土		29	火	定期考査一週間前	29	木	冬期休業	29	水	
30	日		30	水		30	金		30	木	
31	月		31	土		31	日		31	金	
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
球技大会…下旬				センターマラソン(H3) …下旬~1月上旬		国公立大学二次試験出願 …下旬 内部進学説明会(J3) スキースクール保護者対象 説明会(J1) 中学入試		国公立大学前期試験 …2/25.26 私立大学入学試験…2-3月		国公立大学後期試験 …3/12~	

平成28年度 西大和学園 中・高等学校

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定	日	行事予定
1 金	始業式 入寮式 中学入学式(午前) 高校入学式(午後)	1 日		1 水	創立記念日	1 金	答案返却日	1 月	三者面談会(J1-H3) イングリッシュキャンプ (J3~H2希望者)	1 木	生徒集会 LHR 大掃除
2 土		2 月	閉寮(17:00~)	2 木		2 土	↓	2 火		2 金	放課後文化祭準備
3 日		3 火	憲法記念日	3 金		3 日		3 水		3 土	
4 月	身体測定 新入生オリエンテーション	4 水	みどりの日	4 土		4 月	成績確認日	4 木	高1・177 閉寮(17:00)	4 日	
5 火	校内オリエンテーション	5 木	こどもの日 (~16:00)	5 日		5 火		5 金	夏期休業 夏期補習(高3)	5 月	
6 水	授業開始 二者面談(放課後)	6 金		6 月		6 水		6 土		6 火	↓
7 木		7 土		7 火		7 木		7 日		7 水	文化祭準備(全日)
8 金		8 日		8 水		8 金		8 月		8 木	↓
9 土	新入生歓迎 フェスティバル(J1)	9 月		9 木		9 土		9 火		9 金	文化祭
10 日		10 火	ヤングアメリカンズ(J3)	10 金		10 日		10 水		10 土	↓
11 月		11 水	↓	11 土		11 月		11 木	山の日	11 日	
12 火		12 木	↓	12 日		12 火		12 金	↓	12 月	午前(後片付け)午後(学年の取組み)
13 水		13 金		13 月		13 水	富士登山(J2)	13 土	完全休業	13 火	
14 木	↓	14 土	体育祭準備	14 火	定期考査一週間前	14 木		14 日	↓	14 水	
15 金	高校新入生オリエンテーション合宿	15 日	体育祭予行	15 水		15 金		15 月		15 木	
16 土	↓	16 月	体育祭準備 青雲寮中学保護者懇談会	16 木		16 土	高1会員の集い	16 火	↓	16 金	閉寮 (~16:00)
17 日		17 火	体育祭(原セラドーム)	17 金		17 日		17 水	高3(特別補習) 東京カール・ツェイクセミナー	17 土	
18 月		18 水	代休	18 土	高3会員の集い	18 月	海の日	18 木	↓	18 日	
19 火		19 木		19 日		19 火		19 金	↓	19 月	敬老の日
20 水		20 金		20 月	午前中授業	20 水		20 土	↓	20 日	芸術鑑賞会 シルク・ドゥ・ソレイユ・トーテム
21 木		21 土	2限授業 育友会総会・学級委員会	21 火	前期中間考査	21 木		21 日		21 月	
22 金	遠足(J1を除く) 中学校新入生オリエンテーション合宿	22 日		22 水		22 金		22 月	高校全学年・中3 (特別講習または学年の取組み)	22 木	秋分の日
23 土	↓	23 月		23 木		23 土	次世代リーダー養成 (H1・H2希望者) (11日間 8月2日まで)	23 火		23 日	
24 日		24 火	中1,2 中テスト(英数) 中3キャリアアップセミナー	24 金		24 日		24 水		24 月	
25 月		25 水	↓	25 土	中1会員の集い	25 月		25 木		25 日	中1・2学年の取組み
26 火		26 木	↓	26 日		26 火		26 金		26 月	
27 水		27 金		27 月	答案返却日	27 水		27 土		27 日	
28 木		28 土		28 火	↓	28 木		28 日		28 月	
29 金	昭和の日	29 日		29 水		29 金		29 月		29 日	
30 土		30 月		30 木	↓	30 土	1,2限授業 生徒集会・大掃除	30 火		30 日	
		31 火	中3 中テスト(英数)			31 日		31 水			
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
クラブ紹介 自転車通学希望者説明会		自転車安全指導 歯科検診 海外探究プログラムコース 保護者説明会(H1)		人権教育講演会(中・高) 富士登山保護者対象 説明会(J2) アメリカホームステイプログラム 説明会(H1) 郡中体		心の教育講演会(中・高) 高校野球応援(H2)				大学入試センター試験 出願説明会 避難訓練 県高校総体 推薦入学説明会…中旬 海外探究プログラム説明会 中3グローバル研修 プログラム説明会 ファームステイ (農村体験)説明会(J1)	

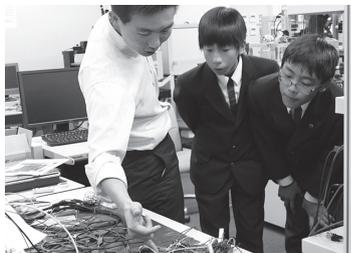
学校行事

中1 サイエンスツアー in 東京



11月1日・2日

東大大学院で最先端科学に触れる



教員3名・生徒36名で、体験学習「サイエンスツアー in 東京」を実施しました。一日目はお台場にある「科学未来館」へ。ロボット「ASIMO」をはじめ、たくさん展示を見学しました。二日目は東京大学大学院の研究室へお邪魔させて

いただき、最先端の科学技術についてレクチャーを受けました。この二日間の日程の中で、科学のさまざまな利用価値について考えることができました。大変貴重な経験となったことでしょうか。ここで見聞きしたことを将来の進路への道標にしてほしいと思います。



「科学未来館」での集合写真

中2 富士登山 (7月8日～11日)



強く風が吹き付ける早朝。僕は気分が浮かなかった。前日の疲れがまだ残っていたように、山頂までは距離がかなりあったからだ。そんな気持ちのまま登りはじめてすぐの事だった。

一斉に立ち止まり、景色を眺めていた。ご来光だ。僕はあまり景色に興味を持たないのでボーツと何となくゆっくり昇ってくる太陽を見つめていた。本当に、本当にゆっくりだった。今までぼんやりとしか見えなかった雲や山々を照らしていく。太陽が全て出たとき、見える景色がパツと明るくなった。目が熱くなっているのに気付いた。

それは希望の光のようだった。さっきまで死んだように静かだった、雲や山々に命を吹き込んでいく、見えるもの全てが生きていていてまぶしかった。日の出が一日の始まりとされている理由が分かった気がした。あの景色は一生僕の心の中から消えることはないだろう。
(生徒の作文より)



2日目、ご来光を望む



雲海の上を頂上まで

中3 アメリカ語学研修旅行



現地校との交流会で授業に参加

中学3年生は10月27日・28日と2班に分けて、語学研修旅行のために渡米しました。今回の行程はまずロサンゼルスから入国し、西大和学園カリフォルニア校との交流のあとホームステイのためにユタ州へと移動しました。不安を胸に移動後すぐのホストファミリーとの出会い。そして7日間のホームステイを通して、すっかり家族の一員として溶け込んだ頃には、涙の別れ、あつという間のユタでの時間でした。

BYUでの研修プログラム、また校外でのさまざまな活動は、これまで勉強してきた英語の実力を試し、発揮する場、そして更に英語を磨き続けていこうという決意につながる有意義な体験となりました。最後はサンフランシスコ、シリコンバレーでの企業見学にも立ち寄り、将来グローバル社会で活躍する自分たちの姿を思い描くよい機会となりました。



シリコンバレーでの企業見学

高1 海外探究プログラム



現地の雇用問題を解決する「かものはしプロジェクト」

「修学旅行」というわけではなく、それぞれの国の問題について考察するなどの事前学習を重ね、その問題に関わる方々と現地でお会いし、話を伺い、質問をするのです。そして帰国後はさらにそれを知識的に、意識的に、深めます。つまり「プログラム」の一環として、その中心に据えられた現地訪問という意味合い

です。

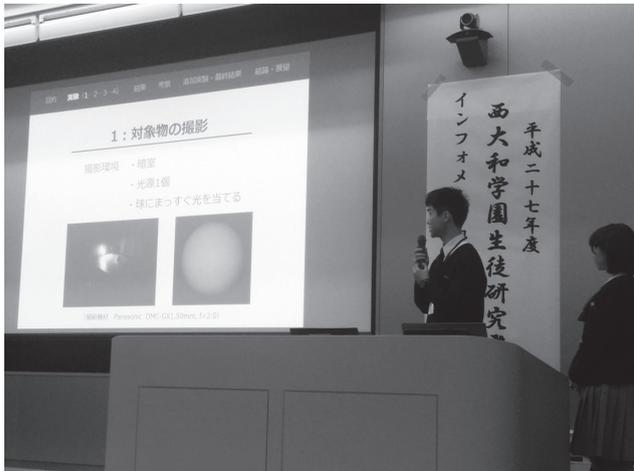


もちろん観光地も訪問（夜明けのアンコールワット）

高校一年生の最大の行事と言えば「海外探究プログラム」です。例年アジアの中で三つのコースに分かれますが、昨年度は、「カンボジア・ベトナム」「シンガポール・マレーシア」「インド」でした。

特筆すべきは、これは単なる「修学旅行」というわけではなく、それぞれの国の問題について考察するなどの事前学習を重ね、その問題に関わる方々と現地でお会いし、話を伺い、質問をするのです。そして帰国後はさらにそれを知識的に、意識的に、深めます。つまり「プログラム」の一環として、その中心に据えられた現地訪問という意味合い

SSH スーパーサイエンスハイスクール



高2生がラボステイの研究内容をスライドにして発表

SSHでは「国際社会で活躍する科学者・技術者に必要な実践的語学力と問題解決力を育む中高一貫型カリキュラムと指導方法の開発」をテーマに様々なプログラムを実施しています。中学では中1の体験学習、中2のクエスト、中3の卒業研究を通して知的好奇心や論理的思考力を養います。高校では自分たちで自由に研究テーマを考える課題研究を経験したのち、高2で京大や奈良先端大の研究室にてラボステイを行います。普通の高校生では体験できないレベルの高い環境や人々に感化され、生徒たちは大変刺激を受けます。

SGH スーパーグローバルハイスクール



SGHでは、教育・農業・交通・通信を軸に各グループに分かれ、ベトナム・カンボジアの貧困問題の原因を究明し、それを解決に導くビジネスプランの作成を行ってきました。海外探求旅行で現地を視察することで知見を広め、貧困問題の解決に尽力している企業・NPO 法人等との連携を図ることや、校内での募金活動を通して、プランの有用性と実行性を相互に検証してきました。また、研究発表会では、全て英語で行うことで、グローバルリーダーとして必要なプレゼン能力を培うことができました。



発表で終わりではない！動き出したビジネスプラン！



大和大学

Yamato University



大和大学は、教育学部、保健医療学部の2学部体制でスタートし、開学3年目を迎えます。JR吹田駅から徒歩7分、阪急吹田駅から徒歩約10分というアクセスに恵まれた絶好のロケーション、「西大和学園が創立」した大学という信頼感から、新設大学としては異例の人数の受験者数が集まるなど、各方面から大きな注目を浴びています。

また、今春から総合大学への次の一歩として、西日本唯一の「政治経済学部」を開設しました。少数精鋭の徹底指導体制、日本を代表する30社以上の企業との連携、現役国会議員、元官僚トップによるリレー講座、松下政経塾での合宿研修導入など、他に類を見ない教育を展開します。

さらには、キャンパスのすぐ隣に、レストラン、カフェ、クリニックスなどが多数入るモールが誕生するなど、本学を中心とする街づくりが加速し、街とキャンパスが一体となってますます活気に溢れています。

どうぞ今後とも大和大学にご注目いただきとともに、いつそのご声援を賜りますようお願い申し上げます。



西大和学園 カリフォルニア校

学園長 西川 勝行

西大和学園振興会会員の皆様、こんにちは。西大和学園カリフォルニア校の学園長を勤めております西川勝行と申します。高1アメリカホームステイプログラムならびに中3語学研修では、米国内の研修の企画をさせていただいております。

西大和学園カリフォルニア校もここロスアンゼルス日本人コミュニティでは、知らない人がいないまでに成長し、当地における日本人教育の一翼を担っております。それでは私たちの学校

NAC (Nishiyamato Academy of California) について紹介いたします。創立24年目のアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の「私立全日制日本人学校」です。学校があるのはロスアンゼルス郊外のロミタ市です。この地域は日本人がとても多く在校生のほとんどがこの地域の日系企業の駐在員の子供たちです。幼稚園、小学校、中学校の14学年で約一七〇人の子どもたちが在籍しております。また二〇二二年に開校した土曜

NISHIYAMATO ACADEMY of California

補習校もこの4月には六〇〇人になり全日制、土曜補習校合わせ七五〇名を越える大所帯になり、学校全体が活気に満ち溢れています。土曜補習校とは、普段アメリカの現地校に通って土曜日だけ日本語と日本の教育を受けるための学校で、駐在員と現地に永住している日本人及び日系人の子どもたちがたくさん通ってくれています。NACでは、子どもたちの個性を伸ばし、豊かな人間性と感性を育み、思いやりのある真の国際人の育成を目指すことを教育目標として日々懸命に取り組んでおります。これからもこのカリフォルニアで日本の本校の皆さんに負けないようにがんばる子どもたちを育てて行きたいと思っておりますので、振興会の会員の皆様方には、今後とも暖かいご支援とご声援を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。